

古い写真の電子化

古い写真の電子化がアンケートの第2位に浮上したことから講座として実施しますが、会場にはそのための設備がないことから講師のスキャナを持ち込んで皆さんに実際に触って体験してもらう内容の講座になります。電子化したものを持ち帰って頂きますので、写真とUSBメモリーを持参して下さい。尚、写真は一人3枚までとします。

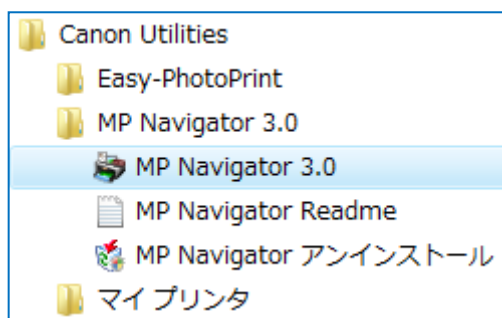
1. 電子化することのメリット

現在の写真をより綺麗に鮮明にすることは出来ません、逆に不鮮明になりますが下記利点があります。

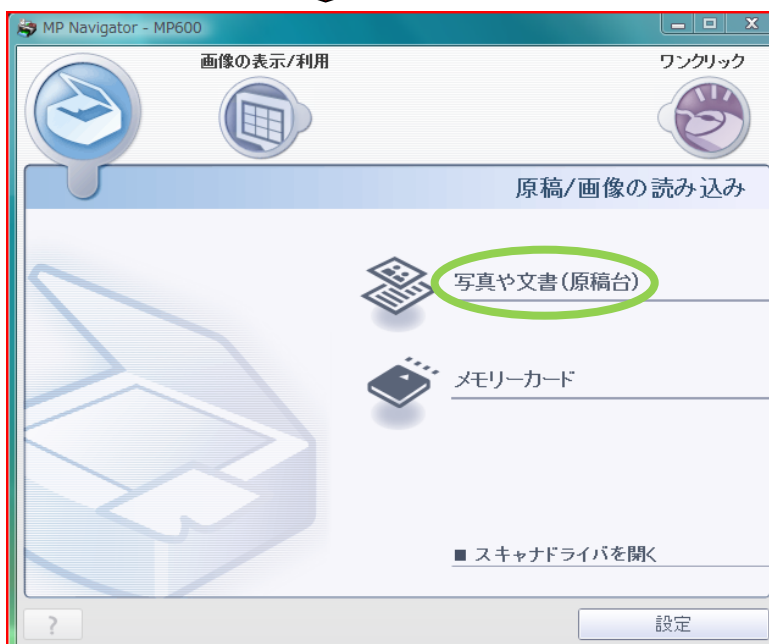
- 現状からの劣化状態ストップ
- デジカメ写真同様に色んな加工が可能になる
- 小さなCDに大量の写真を保存出来る

以下の手順書は講師のCanon製スキャナ付き複合プリンタによるものです。メーカーによって操作方法が違いますからその点は各自で調べて下さい。

2. スキャナソフトの起動



Canon の場合は MP Navigator が起動アイコンになります。プログラムの中がない場合はプリンター購入時に付属してきたCDからインストールする必要があります。



「写真や文書」をクリック

3. スキャン前の設定

スキャンする前に、原稿の種類と解像度を設定する必要があります。写真の場合と文書では設定が違います。

MP Navigator - MP600

写真や文書(原稿台) 以下の手順に従って、写真や文書を読み込んでください。

原稿の種類:
モノクロ文書

原稿サイズ:
自動読み取り

解像度:
75 dpi

詳細設定...

スキャン クリア

1 原稿をセット
原稿台カバーを開け、読み込ませる写真や文書を原稿台ガラスにセットしてください。

2 [原稿の種類] を選択
[原稿の種類]から、写真や文書に一致した設定を選択してください。

3 [スキャン] をクリック
読み取りが開始されます。

選択した画像をどのように使用しますか? ↑

メインメニューへ戻る

原稿の種類からカラー写真を選ぶ

通常はカラー写真を選ぶと解像度が 300dpi に自動設定される

原稿の種類:

- モノクロ文書
- カラー写真**
- モノクロ写真
- カラー文書
- モノクロ文書
- 雑誌(カラー)
- テキスト(OCR)

原稿の種類:
カラー写真

原稿サイズ:
自動読み取り (複数の原稿)

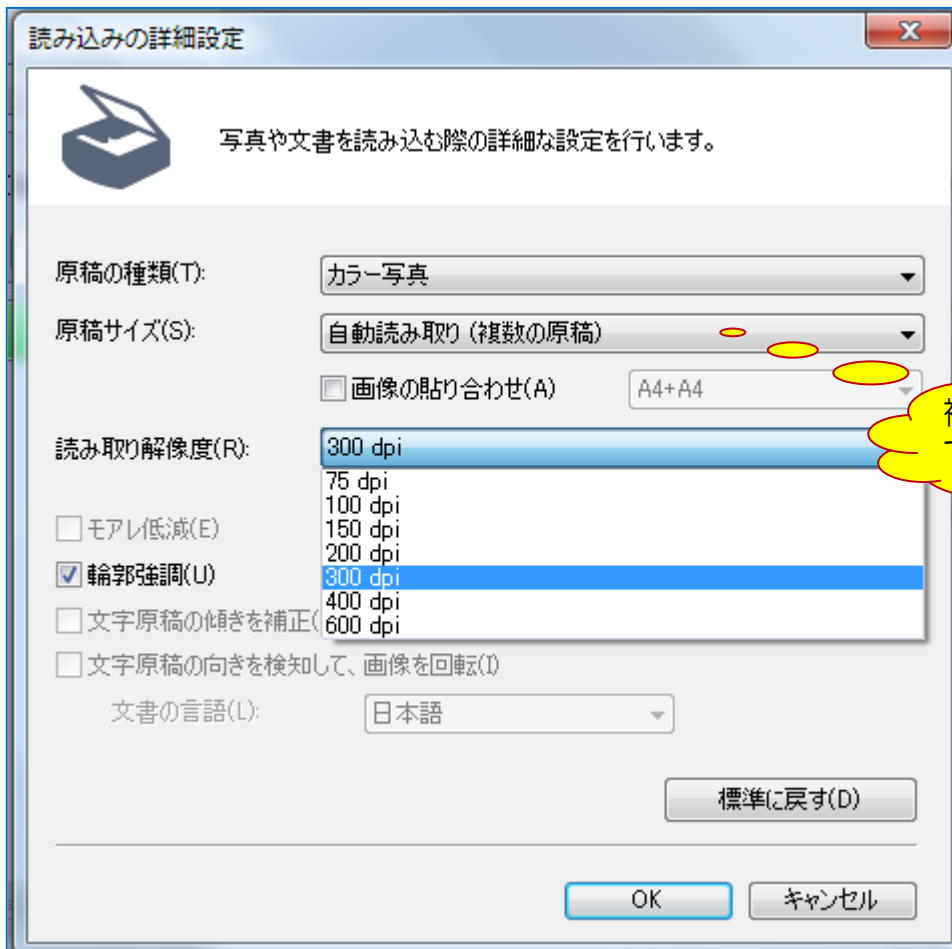
解像度:
300 dpi

詳細設定...

スキャン クリア

300dpi になっていない場合は「詳細設定」ボタンをクリックして、読み取り解像度(R)

の▼をクリックして300dpiを選ぶ。スキャナによっては1000単位の解像度設定も可能ですが、読取り後の容量が大きくなるばかりで実質効果はないようです。

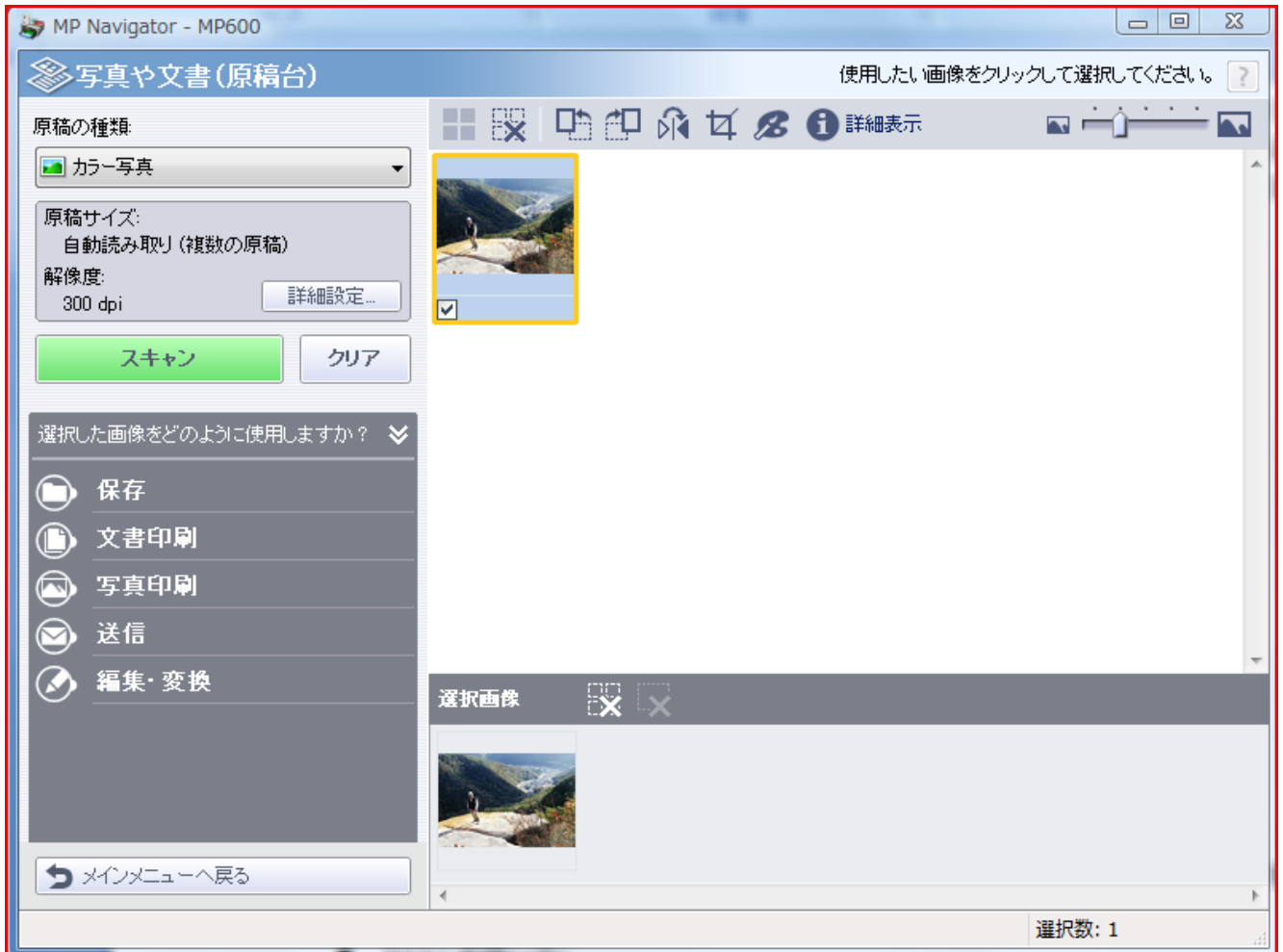


複数の原稿になっていることを確認

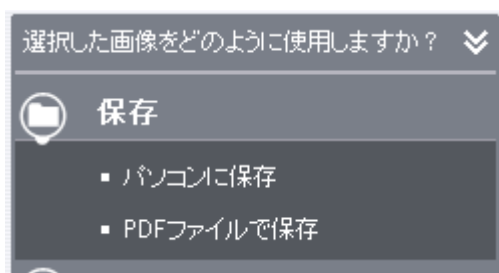
4. スキャン

- カバーを開ける
- 写真を並べる----この機種の場合は複数枚が整列状態でなくても一枚一枚を個別に読込むことができる
- カバーを閉じる
- スキャナボタンを押す (緑色のスキャン)
- 原稿読み取り中のメッセージが出る
- 読み込み完了メッセージが出る。次の原稿を読込む場合は「スキャン」を終了の場合には「完了」を押す

このように表示される

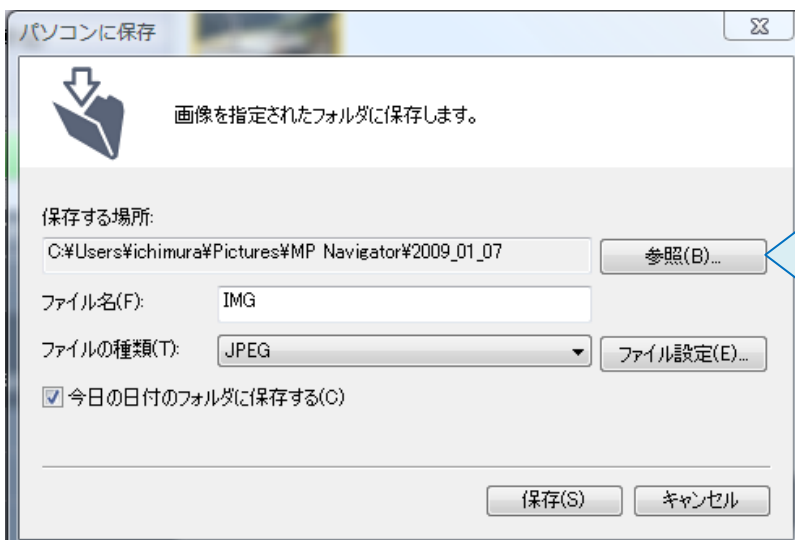


5. 保存



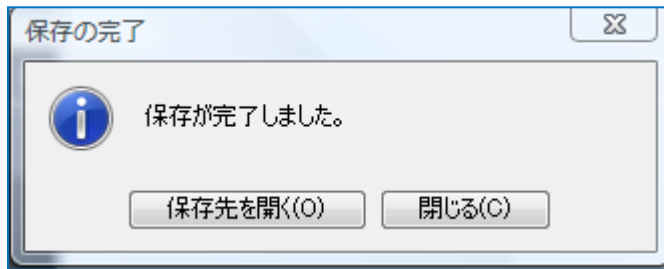
保存をクリックしてパソコンに保存を選ぶ

保存画面から保存する場所の選定とファイル名を入力する。特に設定しない場合はマイピクチャに MP Navigator のフォルダが作成され、且つ、その中に今日の日付のフォルダが作成される。



参照をクリックして保存場所を選ぶ。事前にフォルダを作成しておいたほうが良い。

6. 保存した画像の確認



保存先を開くを選ぶ



通常のL版サイズをスキャンしたもので、大きさは1476*1024ピクセルですから150万画素レベルになっています。

元画像との比較が出来ませんがこのレベルの電子化が出来ます。



備考：古い写真にはゴミが付いていますからそれも全部スキャンして画像に残ります。気になる場合は PictBear のスタンプ機能を使って見えなくすることを勧めます。2008年4月のプラザ講座「写真加工」の7項目の写真に写った邪魔ものを消すを参照して下さい。